

診断日	**年 **月 **日
氏名	*****
会員番号	403577
企業名	特定社会保険労務士 杉山晃浩事務所

Ver.11.12

**信用尺度** 自身の行動を厳密に見つめるタイプか、過大評価気味に見つめるタイプかの自己評価傾向を示す尺度です

診断対象者の信用尺度 **C** 自己を評価する態度 **平均的** A:厳しい B:やや厳しい C:平均的 D:やや甘い E:甘い

自分自身を過大評価することは少ないと考えられます。仕事の先行きに対して甘い見通しを立てることは少なく、トラブルなどの不都合な事態に対しても、問題なく報告するタイプだといえます。

【今回の診断への影響】

自分自身を問題なく分析できていると考えられます。回答の信用度に問題はないと考えられます。

**診断対象者の特徴** 診断対象者の基本的な特性や行動傾向の特徴です。

【全体的な傾向】

「計画的に物事をすすめる傾向」が高く、「明るく周囲に気配りができる傾向」「まじめに根気強く物事に取り組む傾向」も平均以上の水準にあります。また、「成果に向けて前向きに努力する傾向」は平均的だと考えられます。

【メンタリティ】

ストレス耐性  
ストレスを感じても引きずることなく処理できるタイプだと考えられます。

感情コントロール  
感情の起伏をコントロールすることに於いて平均的な値を示しています。

ポジティブ性  
前向きな姿勢に関して平均的な値を示しています。

**行動傾向分析** 診断対象者の行動スタイルに関する評価です。仕事に取り組むにあたっての行動傾向の予測材料となります。

傾向1	明るくて気配りができる	B	
傾向2	まじめに根気強く取り組む	B	
傾向3	成果に向けて前向きに努力する	C	
傾向4	計画的に物事を進める	A	

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い

**メンタリティ分析** 診断対象者の性格的な側面に関する評価です。仕事にのぞむにあたっての心理傾向の予測材料となります。

項目	項目の示すもの	評価	
ストレス耐性	ストレスをためこまずに精神的な健康を維持する力を示す項目です。	B	
感情コントロール	その時の感情に左右されずに冷静さを保つ力を示す項目です。	C	
ポジティブ性	マイナスの感情を引きずらずに前向きに考える力を示す項目です。	C	

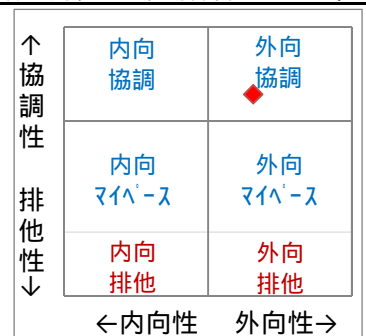
A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い

**組織親和性分析** 集団の中にどのように溶け込んでいくタイプかの分析です。職場の中でどのように振る舞うかの予測材料となります。

タイプ	外向協調型
コメント	自分から積極的に周囲に働きかける中で、周囲と協調しながら行動していく傾向が見られます。

要因分析	組織親和性を決定づける2つの要因の内容	評価
外向性と内向性	自分から積極的に周囲に働き掛けるタイプか、受身で周囲と接するタイプかを示しています。評価が高いほど、外向性が高く積極的に周囲に働きかけをおこなうタイプだといえます。	B
協調性と排他性	集団の中で周囲と協調して行動するタイプか、自分のペースを重視して行動するタイプかを示しています。評価が高いほど、協調性が高く周囲と協調して行動するタイプだといえます。	B

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い



**リーダーシップ資質分析** リーダーとしての適性に関する評価です。職場でリーダーシップを発揮していけるかどうかの予測材料となります。

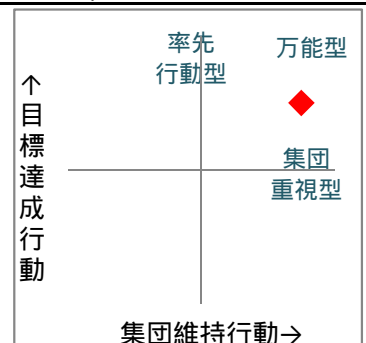
組織の中でリーダーシップをとっていくための潜在的な資質について、率先して目標達成に向かう目標達成行動と、組織の和を高める集団維持行動の評点から分析します。

総合評価	要因分析	
A	目標達成行動	b
	集団維持行動	a

a:高い b:やや高い c:平均的 d:やや低い e:低い

目標達成に向けたリーダーシップ資質、集団維持に向けたリーダーシップ資質がともに高く、万能型の優れたリーダーに成長することが期待できる資質を持っていると考えられます。

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い



診断日	**年 **月 **日	会員番号	403577
氏名	*****	企業名	特定社会保険労務士 杉山晃浩事務所

Ver.11.12

**職種適性分析** 職種に対する適性に関する評価です。採用後の配属予定先に対する適性の予測材料となります。

選択された職種に対する適性		選択された職種以外の職種適性		
選択職種	選択されていません	職種	評価	適合指数
評価	未選択	営業関連	C	60%
適合指数	未選択	企画・研究・開発関連	B	70%
		事務・管理関連	A	90%
		サービス・接客関連	D	50%
		製造・施工関連	B	80%

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い

**パーソナリティ分析** 診断者対象者の個性を形成する要素である行動特性を分析します。

行動特性項目	項目の示すもの	評価	診断対象者の特徴
まじめさ	約束事やルールを守り規律正しく行動する傾向を示す項目です。	B	約束事やルールを破ることなく行動しようという意識が見受けられます。
根気強さ	粘り強く物事に取り組んでいく持続力に関する項目です。	B	困難な状況や単調な環境の中でも根気強く行動していこうという意欲が見受けられます。
自己管理	物事をきちんと確実に進めていく傾向に関する項目です。	A	しっかりした自己管理のもとで物事を確実に進めていく傾向が高く見受けられます。
計画性	計画的に物事を進めていく傾向に関する項目です。	B	事前準備をおろそかにせず計画的に行動しようという意欲が見受けられます。
達成意欲	高い目標に向かって意欲的に取り組む傾向に関する項目です。	B	高い目標にも物怖じすることなく行動していこうという意欲が見受けられます。
向上心	高い学習意欲や向上心を維持する傾向に関する項目です。	D	自分の能力を高めるための意識や行動が時としておろそかになってしまう傾向が見受けられます。
積極性	自ら進んで積極的に行動する傾向に関する項目です。	C	積極的に物事に取り組んでいくことに関して、平均的な資質を持っていると考えられます。
社交性	自分から進んで周囲と交流していけるかどうかを示す項目です。	C	自ら進んで周囲と交流することに関して、平均的な資質を持っていると考えられます。
コミュニケーション力	周囲の人と円滑にコミュニケーションをとる能力に関する項目です。	D	時として周囲の人たちのコミュニケーションが不十分になってしまう傾向が見受けられます。
協同性	周囲と協しながらか物事に取り組んでいく傾向を示す項目です。	B	周囲の人たちとの和を乱すことなく行動していこうという傾向が見受けられます。

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い

**面接および採用後の育成で特に注意すべき行動特性** 面接や採用後の育成の参考にしてください。

以下の項目に注意して、面接や今後の育成をおすすめください。

【面接と育成のポイントとなる項目】

向上心                      コミュニケーション力

面接と育成のポイントにつきましては、別冊のパーソナリティ診断ハンドブックにまとめてあります。

パーソナリティ診断【本人用】診断結果

ご本人様にお渡しください。

診断日	**年 **月 **日	会員番号	403577
氏名	*****	企業名	特定社会保険労務士 杉山晃浩事務所

Ver.11.12

**診断対象者の特徴** 診断対象者の基本的な特性や行動傾向の特徴です。

**【全体的な傾向】**  
 「計画的に物事をすすめる傾向」が高く、「明るく周囲に気配りができる傾向」「まじめに根気強く物事に取り組む傾向」も平均以上の水準にあります。また、「成果に向けて前向きに努力する傾向」は平均的だと考えられます。

**【メンタリティ】**  
 ストレス耐性  
 ストレスを感じても引きずることなく処理できるタイプだと考えられます。

感情コントロール  
 感情の起伏をコントロールすることに関して平均的な値を示しています。

ポジティブ性  
 前向きな姿勢に関して平均的な値を示しています。

**パーソナリティ分析** 個性を形成する要素である行動特性を分析します。

行動特性項目	項目の示すもの	評価	あなたの特徴
まじめさ	約束事やルールを守り規律正しく行動する傾向を示す項目です。	B	約束事やルールを破ることなく行動しようという意識が見受けられます。
根気強さ	粘り強く物事に取り組んでいく持続力に関する項目です。	B	困難な状況や単調な環境の中でも根気強く行動しているという意欲が見受けられます。
自己管理	物事をきちんと確実に進めていく傾向に関する項目です。	A	しっかりした自己管理のもとで物事を確実に進めていく傾向が高く見受けられます。
計画性	計画的に物事を進めていく傾向に関する項目です。	B	事前準備をおろそかにせず計画的に行動しようという意欲が見受けられます。
達成意欲	高い目標に向かって意欲的に取り組む傾向に関する項目です。	B	高い目標にも物怖じすることなく行動しているという意欲が見受けられます。
向上心	高い学習意欲や向上心を維持する傾向に関する項目です。	D	自分の能力を高めるための意識や行動が時としておろそかになってしまう傾向が見受けられます。
積極性	自ら進んで積極的に行動する傾向に関する項目です。	C	積極的に物事に取り組んでいくことに関して、平均的な資質を持っていると考えられます。
社交性	自分から進んで周囲と交流していけるかどうかを示す項目です。	C	自ら進んで周囲と交流することに関して、平均的な資質を持っていると考えられます。
コミュニケーション力	周囲の人と円滑にコミュニケーションをとる能力に関する項目です。	D	時として周囲の人たちのコミュニケーションが不十分になってしまう傾向が見受けられます。
協同性	周囲と協力しながら物事に取り組んでいく傾向を示す項目です。	B	周囲の人たちとの和を乱すことなく行動しているという傾向が見受けられます。

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い

**行動傾向分析** 日常的な行動スタイルに関する分析です。

傾向1	明るくて気配りができる	B	
傾向2	まじめに根気強く取り組む	B	
傾向3	成果に向けて前向きに努力する	C	
傾向4	計画的に物事を進める	A	

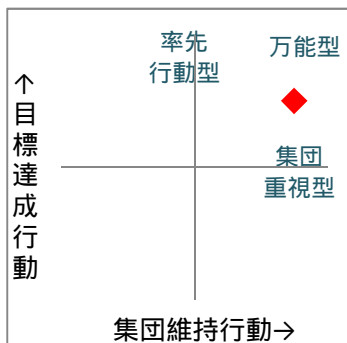
A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い

**リーダーシップ資質分析** リーダーとしての適性に関する評価です。職場でリーダーシップを発揮していけるかどうかの予測材料となります。

組織の中でリーダーシップをとっていくための潜在的な資質について、率先して目標達成に向かう目標達成行動と、組織の和を高める集団維持行動の観点から分析します。

総合評価	A
A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い	
要因分析	評価
目標達成行動	b
集団維持行動	a

a:高い b:やや高い c:平均的 d:やや低い e:低い



**職種適性分析** 職種に対する適性に関する評価です。採用後の配属予定先に対する適性の予測材料となります。

選択された職種に対する適性		
職種	選択されていません	
評価	未選択	
適合指数	未選択	

選択された職種以外に対する適性		
職種	評価	適合指数
営業関連	C	60%
企画・研究・開発関連	B	70%
事務・管理関連	A	90%
サービス・接客関連	D	50%
製造・施工関連	B	80%

A:高い B:やや高い C:平均的 D:やや低い E:低い